



# 思いやりとありがとうの心で

草津市立草津第二小学校 道徳・人権通信 令和4年5月13日 NO.1



この通信では、子どもたちの学校での道徳の学習や人権に関わる取り組みの様子などを保護者や地域の方々に伝えています。

「人権」とは誰もが安心して楽しく生きることができる権利です。一人ひとりの違いを認め、自分や周りの人それぞれが大切にされる存在であることに気づくことを大切にしています。

子どもたちが学んだことや感じたことについてご家庭でも話してみてください。私たち大人からの一言や行動が子どもの人権感覚を育てます。共に考えていきたいです。

## ☆フレンズデー☆

毎月1度フレンズデーがあります。フレンズデーでは、全校のみんなでテーマに合った話を聞いたり、エンカウンター（仲間づくりの活動）に取り組んだりすることで、人権の大切さについて考え合います。

### ○4月のフレンズデー「さくら学級って どんなところ」

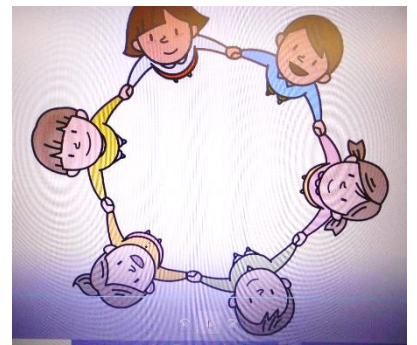
さくら学級の先生からさくら学級についての話を聞きました。その中で「一人ひとり顔や好きなものが違うように、みんな違っていろいろな人がいるからいい。自分のペースで成長していったらいい。それぞれのペースを大切にしているのがさくら学級です。子どもも大人もみんな違っていいんだよ。」というメッセージがありました。さくら学級の教室・活動の様子の紹介や、みんなで大切にしていきたいことなどの話を聴きました。

わたしたちは、一人ひとり得意なこと、苦手なこと、背の高さ、声の大きさ、また、のんびりしていたり、せっかちだったり、にぎやかなところが落ち着かないと感じたり、好きだと感じたり…いろいろなことが違います。友だちと仲良くしたいなと思っているのにうまく表現できなかったり、はずかしくて声がかげられなかったり…。人によって思いの表し方はそれぞれです。

一人ひとりの違いを持ちあじとしてとらえ、その持ちあじを知り、わかり合うことがそれぞれの安心につながっていきます。  
あたたかな声を掛け合い、誰もが笑顔で過ごしていきたいです。

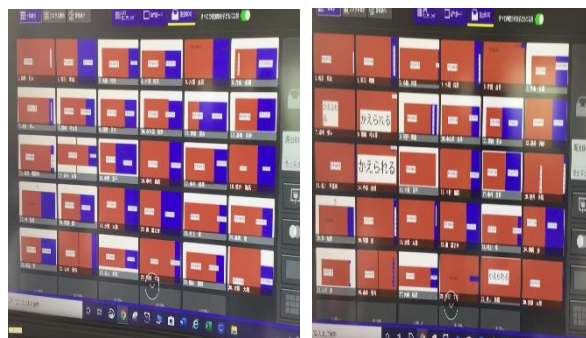


(さくらカレンダー)



# 道徳の学習から

## 6年生 「団地と子犬」



この団地では、犬を飼ってはいけない規則になっているが、目の見えない子犬を拾った子どもたちは、命を大切にしたいという思いで、大人たちをお願いに行きます。始めは反対していた大人たちも、子どもたちの思いに触れることで、真剣に考え、規則を変えることになりました。本教材を通して、規則はそのことに関わる人々が幸せに生活できるようにという願いを込めて人が作ったものであることを理解しました。「規則は変えられるか?」という質問に対してICTで意識調査をしたところ、学習後も同じ質問をすると、子どもたちの考えに変化が見られました。学級のみんなの考えを視覚的に見ることで、「どうしてそう思ったのか知りたい。」という声が出て話し合いが活発になり、交流が深まりました。

<子どもたちのふり返り>

- ・規則はみんなのためにあり、多くの人の思いが詰まったものだと思います。憲法のように簡単に換えられないものもあるけれど、しっかり自分の思いを伝えたら、換えられるものもあるんだなと思いました。
- ・規則を守っている大人たちにもそれぞれの理由があることを知りました。

## 3年生 「きいてるかい オルタ」～本当は できる～



鉄棒やおにごっこ、ドッジボールなどいろんなことが苦手なぼく。ある日、そんなぼくが苦手なドッジボールで友だちの剛速球を片手で捕まえることができました。お話を読んで、「上手なこと」や「苦手なこと」ということについて考えました。前向きな気持ちで生活をしようとして自分を変えられた「ぼく」の姿から、自分の苦手なことを克服し、長所を伸ばしてさらに成長したいという思いを持つことができました。

<子どもたちのふり返り>

- ・苦手なこともあるけど、「やればできる!」と思って挑戦してみます。
- ・苦手なことがあっても、あきらめずにやるのが大切だと思います。
- ・上手にできることも苦手なこともどっちもがんばりたいです。